

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	32 バス事業									
総合計画	めざまの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	企画部				
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通				担当課	市民協働課				
関連予算科目	一般	会計	02	款	総務費	01	項	総務管理費	08	目	交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費			細事業名 (事業2)	バス事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	全市民				
事業期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	-							
事業の目的	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境の確保を図る。特に、高齢者、通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する。										
事業の概要	市民の通勤通学や通院、買い物の為の利用の利便を図るため、コミュニティバスを運行する。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地区からJR駅へ運行する6路線を車両5台で運行するコミュニティバス事業の実施。 鷺津地区内を循環する路線の運行。 										
課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用が極端に少ない路線がある。 交通空白地域や、バス停から遠い住民の移動手段確保のための新たな運行形態の導入が必要である。 										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	61,244	千円	67,423	千円	70,210	千円			
		決算 (見込) 額	55,872	千円	67,796	千円		千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	550	千円	570	千円	570	千円			
		一般財源	55,322	千円	67,226	千円	69,640	千円			
	人件費 (B)		7,083	千円	7,980	千円	7,597	千円			
	人工 (職員数の内訳)		0.94	人	1.07	人	1.02	人			
トータルコスト (A) + (B)		62,955	千円	75,776	千円	77,807	千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	コミュニティバス年間利用者数	人	目標		90,000	90,000	90,000				
			実績		79,946	81,362					
		達成度		88.8%	90.4%						

3. 評価 (Check)

総合判定	B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」 《判定理由》	
	需要の少ない地域や交通空白地域となっている地域の対応を検討する必要があるため。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	バス運行計画に基づき、市内7路線でコミュニティバスを運行している。デマンド運行の導入に向けた検討をする。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	34 地域公共交通対策事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	企画部				
	基本計画【施策】	5-⑥利用しやすい公共交通				担当課	市民協働課				
関連予算科目	一般	会計	02	款	総務費	01	項	総務管理費	08	目	交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費			細事業名 (事業2)	地域公共交通対策事業				
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民					
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る。										
事業の概要	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進行管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	地域公共交通会議の開催（5回） バス運行評価改善委員会の開催（3回） 路線退出に伴う自主運行バスの運行										
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増につなげない。 ・運行内容等の見直しにつながるための現状把握の方法の工夫が必要。 ・運行内容が正しく伝わっていない。 										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	20,091	千円	14,829	千円	15,080 千円				
		決算（見込）額	14,403	千円	14,550	千円	千円				
	財源内訳	※国・県補助金など	3,645	千円	3,424	千円	3,744 千円				
		一般財源	10,758	千円	11,126	千円	11,336 千円				
	人件費 (B)		7,083	千円	6,983	千円	6,647 千円				
	人工（職員数の内訳）		0.94	人	0.94	人	0.90 人				
トータルコスト (A) + (B)		21,486	千円	21,533	千円	21,727 千円					
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	地域公共交通利用圏域		%	目標	86	86	86				
				実績	86	86					
		達成度	100.0%		100.0%						

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>市・運行事業者による運営事務局を中心に取組体制を構築し、コーちゃんバスの改善につなげている。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	コーちゃんバス運行内容を評価し改善するための評価改善委員会を開催し、改善報告書を取りまとめ、次年度への運行内容の見直しに反映させた。 連携計画に代わる形成計画を策定し、計画推進事業を実施する。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	35 天竜浜名湖鉄道対策事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	企画部				
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通				担当課	市民協働課				
関連予算科目	一般	会計	02	款	総務費	01	項	総務管理費	08	目	交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費			細事業名 (事業2)	天竜浜名湖鉄道対策事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る。										
事業の概要	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイレール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで、経営を長期安定化する。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	天竜浜名湖鉄道経営助成基金への負担金 天竜浜名湖鉄道市町会議での利用促進 小学校新入学記念乗車切符の助成事業 敬老記念乗車切符の助成事業										
課題	市町会議が実施する施策や各種イベントが、必ずしも利用促進につながっていない。小学校新入学記念乗車切符の利用率が悪い。										
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成27年度		平成28年度		平成29年度				
		決算 (見込) 額	18,588	千円	17,647	千円	10,830	千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	18,093	千円	17,188	千円					
		一般財源	0	千円	424	千円					
	人件費 (B)	18,093	千円	17,188	千円	10,406	千円				
	人工 (職員数の内訳)	2,024	千円	1,995	千円	1,899	千円				
	トータルコスト (A) + (B)	0.27	人	0.27	人	0.26	人				
トータルコスト (A) + (B)	20,117	千円	19,183	千円	12,729	千円					
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度					
	市内乗降客数	人	目標	-	-						
			実績	322,096	330,816						
		達成度									

3. 評価 (Check)

総合判定	B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」 《判定理由》	
	沿線住民のための大切な交通手段として、維持すべき公共交通であるため。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	各種施策やイベントが継続的な利用促進につながるよう工夫が必要。 他の公共交通機関との相互連携を促進する必要がある。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	380 新所原駅周辺まちづくり事業				
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち		担当部	都市整備部
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通			担当課	都市計画課
関連予算科目	一般 会計	08	款	土木費	04	項 都市計画費
	目	都市計画総務費				01
	予算事業名	基本事業 (事業1)	都市計画総務関係経費		細事業名 (事業2)	新所原駅周辺まちづくり事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	その他 新所原駅周辺及び駅の利用者
事業期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	平成30年度		
事業の目的	新所原駅周辺の整備を推進することにより、交通便利性の良いまち、安心安全なまちづくりを行う。					
事業の概要	JR委託による自由通路新設及び橋上駅舎化事業を行い供用開始する。また、供用開始にあわせ新所原駅周辺暫定整備工事及び南口連絡通路整備工事等を行う。					

2. 事業の実績(Do)

事業実績	自由通路新設及び橋上駅舎化委託業務 一式 自由通路新設等に伴う天浜線に係る委託業務 一式 新所原駅周辺暫定整備工事 南口暫定整備A=1,800㎡ 南北駐輪場整備A=1,600㎡ 交差点改良N=2箇所 二軒屋2号線他1道路整備工事 L=156m 街路灯設置工事 N=14基							
課題	事業予算の確保 コスト縮減							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費(A)	当初予算額	541,415	千円	1,392,789	千円	657,291	千円
		決算(見込)額	689,929	千円	1,280,460	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	2,082	千円	1,080,605	千円	522,288	千円
		一般財源	0	千円	199,855	千円	135,003	千円
	人件費 (B)		26,617	千円	26,433	千円	26,433	千円
	人工(職員数の内訳)		3.55	人	3.55	人	3.55	人
トータルコスト(A)+(B)		716,546	千円	1,306,893	千円	683,724	千円	
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	駅周辺施設整備の全体計画に対する整備率(累計)	%	目標	40	74	95		
			実績	40	78			
達成度			100.0%	105.7%				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 新所原駅周辺の交通結節点機能の強化、移動円滑化向上のために必要な業務である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	新所原駅周辺整備事業寄付金を広く募集。 社会資本整備総合交付金を活用。